

平成 28 年度第 3 回日進市総合戦略推進委員会 議事録

日 時 平成 29 年 3 月 21 日 (火) 午後 2 時から午後 3 時まで
 場 所 日進市役所本庁舎 4 階第 1 会議室
 出 席 者 坂井陽二、石黒秀一、鶴飼宏成、亀倉正彦、土田茂、三村剛、高岡俊彦、山本康弘、平真弓
 欠 席 者 福安克彦
 事 務 局 金山敏和 (企画部長)、石川達也 (企画部次長兼企画政策課長)、川合陸仁 (企画政策課長補佐兼市政戦略係長)、小塚竜範 (企画政策課市政戦略係主事)
 説明の為に出席した者 伊藤肇 (生活安全課長)
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 有 (5 名)
 次 第 1 開会
 2 あいさつ
 3 議題
 (1) 日進市総合戦略に掲げる数値目標及び KPI の現状値について
 (2) 平成 29 年度の主要事業について
 配 付 資 料 資料 1 日進市総合戦略に掲げる数値目標及び KPI (初期値・現状値・目標値) 一覧
 資料 2 平成 28 年度日進市市民意識調査報告書<概要版>
 資料 3 日進市総合戦略における平成 29 年度主要事業について
 資料 4 暮らしを支える地域交通網の充実について

	1 開会
	2 あいさつ
	3 議題 (1) 日進市総合戦略に掲げる数値目標及び KPI (初期値・現状値・目標値) 一覧
委 員 長	議題 (1) について、事務局から説明をお願いします。
事 務 局	(資料 1、2 に基づき説明)
委 員 長	ただいまの説明について、ご質問やご意見等はございますか。
委 員 長	日頃バスを利用する人の割合の初期値が 32.8% となっていますが、どのような方法で確認をとられたのでしょうか。
事 務 局	平成 27 年 4 月に生活安全課で地域公共交通網形成計画を策定しておりますが、その際に無作為抽出で実施したアンケートにより把握した数値です。
委 員 長	市内総生産額が掲載されていますが、農業や産業の内訳は分かりますか。
事 務 局	全体では約 2,506 億円となっています。その内訳として一番多いものはサービス業で約 660 億、次に多いのが不動産業で約 458 億、3 番目が製造業で約 343 億、4 番目が卸売・小売業で約 335 億、5 番目が建設業で約 169 億となっています。ま

	た、農業は約5億となっています。
委員長	「安心して子育てできる環境である」と感じる市民の割合について、初期値と比較すると高くなっており、順調に目標値に近付いています。その一方で、年間刑法犯罪発生件数については増加の傾向を辿っているというように、子育てに関する意識の面と、安全安心の面ではやや違う動きになっているという実態があります。この犯罪件数の増加について、どのような犯罪が増えているのか教えてください。
生活安全課長	全国でも愛知県は犯罪が多い傾向にありますが、その中でも、特に空き巣・忍込み・侵入盗といった犯罪が多いです。
委員長	そういった犯罪への対策というのはどう講じられているのでしょうか。
生活安全課長	生活安全課としては、啓発活動を行っていくことが一番重要だと考えています。平成28年の4月からは防犯診断事業を始め、ご要望のあったお宅に警察OBに行っていただき、あなたのお宅はもっとこうしたらいいですよといったアドバイスをさせていただいております。 また、防犯や交通安全においては、地域の方の協力も重要です。地元の中では防犯や交通安全、消防は一体的になっておりまして、例えば朝、交通安全活動に立っていただいている方が、青パトに乗って防犯活動をさせていただいております。
委員長	地元の活動団体、あるいは任意のボランティア団体の方に、防犯の現場面においては依存している状態だということですね。したがって、地元の方々の意識の違いに応じて、防犯対策について地域差が出てきているのだと思います。一方の値は減っているけれども、一方の値は増えているというのは、そのような背景があるからでしょう。 ちなみにわたしが住んでいる自治体には、インターチェンジが3つあります。この自治体も犯罪率は高く、インターチェンジの近くは大変多いそうです。将来的に日進市がスマートインターを設置した際にも、おそらくその周辺地域は犯罪率が高くなるだろうと思われまます。これは他地域の傾向を見て事前に分かる情報です。様々な対策を講じて講じきれない部分もあるかもしれませんが、意識はしておく必要があるかと思ひます。
生活安全課長	先ほどの説明について1点補足させていただきます。実はこの3月から防犯カメラを主要幹線道路に10箇所設置しまして、稼動を始めたところです。この防犯カメラの設置については、犯罪の抑止効果を狙うものであります。
委員	今の話に関連しまして、愛知署の警官の数やパトカーの数については、人口増などに合わせて増強されてきているのでしょうか。
生活安全課長	平成30年度に愛知署の建替が行われる予定です。それに合わせ、日進市だけでなく近隣市町も増員の要望を出しているところです。また、竹の山地区等々の犯罪が多い地区に、交番を作っていただくよう要望しております。
委員	公共交通利用の不満割合が初期値の45.1%と比較して現状値は41.2%と目標値に向かって順調に推移しているようですが、なぜ改善したのかその理由は分か

	りますか。
生活安全課長	現状につきましては、公共交通を取り巻く環境は大きく変わっていませんので、なぜ改善したのか明確な理由は分かりませんが、通勤しやすい場所に移り住んだ方が多かったなどの理由は考えられます。
委員長	おそらく目標値の設定自体の問題であったり、設問間で見れば、例えば健康を実感している市民の割合は低くなってはいるものの8割以上が実感していると回答しているのに対して、健康に意識した取組を行っているという回答した人は56.8%に留まっていたりと、意識と実際の行動が違うといった実態がみえます。検討や分析をする際には、そういった面を掘り下げていかないと、改善に結びつかないというのが正直なところですよ。
委員	まだ始まったばかりで、これから数年がかりで目標を達成していくという中で、このようなデータを取るというのは、要所要所でチェックをすることによって改善することを目的としていると考えます。そのため、市民意識調査の質問票についても可能な範囲で工夫していただきたいと思います。例えば、今回の一連のやりとりを聞いていまして、数字はこうなっているけれども理由は分からないということでしたが、それならばなぜそうなったのかという分析の要素を取り入れるなどして、改善のためのヒントが得られるような書きぶりというのを検討していただきたいです。
委員	そもそも配布数3,000に対して、回収率が42.8%というのは一般的な数字なのでしょうか。
事務局	統計学上では、有効な標本数が1,000あればその調査は信用できるとのことです。また、回収率の42.8%というのも、他市町のアンケートと比較すると高い方だと聞いています。
委員	市民のみなさんの感覚として、147個の設問というのは多すぎないかと思いますが、その辺りいかがお思いでしょうか。
事務局	この市民意識調査は直近では平成26年度に実施していますが、ある程度同じ項目について数値の経年変化を見たいという意図があります。他の統計調査で扱われている項目は市民意識調査の項目から外したり、一方で、新しい考え方については設問を新しく設けたりと、若干の修正はありますが基本的にはこれまでと同じような設問数となっています。 なお、次回の市民意識調査は平成30年度に実施する予定です。また、次の総合計画の策定に向けては、設問の内容も含めて検討していきたいと考えています。
委員	市内でも非常に便利になったところと、変わらない地域というのがあります。私は五色園区に住んでいますが、この週末も車を使わずになんとか生きていけないものだろうかと考えまして、実践してみましたが、やはりできませんでした。私の親世代も車をずっと手放せずにおり、そろそろ運転も危なくなっているところで、いつ止めさせようかと悩んでいるところです。私としては、この資料に並んだ数字を見ても分からないので、地域間の差が分かるよう地域ごとの

	数字があると良いのかなというように感じました。
委員長	ありがとうございました。地域の交通網については、次の議題にもあがってきますので、そこで生活安全課長から現状のお考えを少しお話いただきたいと思います。また、このような網羅的な調査になりますと、地域差というのが見えづらくなってしまふ部分はありますので、もっと細やかな調査方法をしておかなければなりません。また、最近は地理情報のシステムがうまく低価格で使えるようになっており、メッシュ単位でここに住んでいる人の特徴はどうだということを地図上に落とし込むことができます。その手法を取りますと、地域差が視覚的に見えるようになってくるのではないかと思います。この調査方法と同時に表現の仕方についても工夫の余地があるということも意識いただければと思います。
事務局	地域差が分かるようにということですが、市民意識調査の本体をご覧いただきますと、学区別や年齢別といった調査方法を取っている項目もあります。また、本体には載せていないものにつきましても、男女別や小学校区別、居住区別といった情報は取得していますので、必要に応じて活用していきたいと考えております。
委員長	現状の把握と同時に、次回の時に改善を目的とするのであれば、色々な調査方法あるいはそれに伴う対策を同時並行的に検討いただければと思います。
委員長	引き続き議題(2)について、事務局及び生活安全課から説明をお願いします。
事務局	(資料3に基づき説明)
生活安全課	(資料4に基づき説明)
委員	ポケット版時刻表というのはどこでどのように配布されるのでしょうか。
生活安全課	2月広報で全戸配布している他、窓口や各公共施設でも配布しております。
委員	資料1で数値目標を色々と掲げられていましたが、資料3の平成29年度の主要事業を取りまとめた資料とどう結びつけて見ればよいのでしょうか。あるいは市民の要望がどこに反映されているのでしょうか。
事務局	市民意識調査の結果については1月末に取りまとまったところですので、今回の資料には反映されておられません。ただし、予算の範囲内で実行していく段階では、調査結果を反映し、手法など工夫していくものだと考えております。また、次年度の予算編成の際には、今回の調査結果をより具体的に反映することができると思います。
委員長	今ご説明いただいたように、数字として反映できているかという視点もあるかとは思いますが、委員がここで聞きたいのは、この資料3は現状との絡みの中でどのような関係性にあるのかということだと思います。
委員	例えば、資料1の施策1-1の保育施設の定員数は現状2,299人とありますが、これは資料3の民間保育所支援事業と結びついているという見方をすればよろしいでしょうか。
事務局	そうです。総合戦略には基本目標や施策があり、そのためには何をしなければならぬのかということを示すために具体的な事業名を記載しております。その

	<p>中でも、この資料3に掲げた事業というのは平成29年度に実施する事業ということになります。例えば、子育て支援センター運営事業や放課後児童健全育成事業費補助事業を実施することで、安心して子育てできる環境だと感じる市民が増えていくだろうというように繋がっていきます。</p>
委員長	<p>やられていることはとても多様なことである一方で、一般的な市民の目線で見ただけで理解しやすい状態になっているかということと残念ながらない可能性があるのも、もっと繋がりや対策が分かるような形で情報発信していくとより良くなっていくのではないかとのご提案でした。</p>
委員	<p>市民はやはりこの調査に対する回答を待っていると思います。ですので、もう少し市民に分かりやすくフィードバックできるように考えて、調査をただで終わらないようにしてください。</p>
委員	<p>資料4について、見てもよく分からないのですが、つまり料金が倍になるということでしょうか。</p>
生活安全課	<p>平たく言えば、100円の路線が200円になるということですが、循環線については100円で乗れます。なおかつ、これまで中央線については、200円均一でしたが、民営化により名鉄バスになりますので、170円から540円の間対距離区間制を取る形となります。公共交通については、どこまで行政が責務を担うべきか、コストをかけていくべきかといった部分が非常に悩ましいと思います。以前、平成12年ごろに名鉄バスが次第に使われなくなっていき、どんどん撤廃していく中で、くるりんばすで埋める形で運用を始めたというのが実情です。また、バスの利便性を指標として設定する際には、何をどう便利と捉えるかというのが非常に重要になってきます。例えば、バスが利用できるかできないかという話なのか、1時間に一本あるかないかという話なのか、あるいは300メートルごとにバス停があるかないかという話なのか。その辺りも含めて行政の責務がどこまでなのかを議論をする必要があると感じています。</p>
委員	<p>私達が利用しないのでバスが減ったということは理解しています。今回の再編計画もそうですが色々な手を打っていただいているのですが、五色園区に限って言いますと、全然便利にならないですし、高齢化も進んでいるので、もう少しきめ細やかに考えていただけるとありがたいと思います。</p>
委員	<p>くるりんばす以外の部分の問題をどう解決していくかお聞きしたいです。介護や障害のある方に対してはまた別の制度を整えていると思いますが、これだけで網羅できない人たちをどの程度把握しているのでしょうか。また、個人的には循環線が必要なのかと思います。この料金設定で果たして利用する人がいるのだろうかという疑問もあります。もう少しリーズナブルにするところはしてもいいのかなと思います。</p>
生活安全課	<p>まず、介護や障害のある方については、福祉有償運送事業を行っています。くるりんばすだけで網羅できない方達に対して、低床バスで狭い路地を走らせることは、現実的には非常に難しいため、現状は予定していません。</p>

	<p>それから循環線に乗るかどうかという点については、我々もその部分についてはもっと宣伝が必要だと感じています。</p> <p>これまで赤池までのアクセス方法というのはほとんどありませんでしたし、これから東郷町にららぽーとができる中で、交通の南北軸を強化していくということも必要だと感じております。</p>
委員長	<p>地域の交通機関について総合的にいえば、どの自治体も課題は山積しております。新しい技術に基づく運行計画など今研究中の領域となっております。NTTドコモとはこだて未来大学が組んで実証実験を始めたという話もありますし、多治見もコミュニティバスの考えを活用しながら、民間運送事業者が様々な取組にチャレンジしているという話もあります。おそらく日進市においても、日進市の課題に合わせた対策というのが、この総合戦略をきっかけにはっきりと検討されていくだろうと感じております。この総合戦略は2年目が終わったところですが、まだ残り3年ある中で、最終目標に向かって、よりよい対策が講じられていくと思っています。プランを実行し、それをチェックし、さらに改善して次の実行へと結び付けていくというPDCAサイクルを見たいというのが、多くの委員の意見だったかと思います。従いまして、次年度に向けて今年の改善を活かし、さらにその結果が見やすくなっていくようにしていただければと思います。それでは事務局にお返ししたいと思います。</p>
事務局	<p>委員の皆様、それぞれのご専門やご経験から大変貴重なご意見をいただき、大変参考になりました。</p> <p>今年度の開催につきましてはこれで終了となります。来年度も3回程度予定しておりますが、改めて担当から日程調整をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、平成28年度第3回日進市総合戦略推進委員会を閉会いたします。ありがとうございました。</p>
	閉会